J　Z

KLD-350

取扱説明書

入門ガイド

別紙の「はじめにお読みください」をお読みになった後、本書をお読みください。

本製品を使用したディスク※への印刷は、ディスクにデータを記録する前にされることをおすすめします。
すでにデータが記録されているディスクに印刷した場合、データ破損の保証はいたしません。
また、当社はいかなる理由においてもディスクの記録データの保護ならびに破損についての責任は一切負えませんので、あらかじめご了承ください。
※ CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RWなどのメディア

ご使用の前に「取扱説明書　応用ガイド」の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

はじめに 本機を使ってできることを説明しています。

準備編 電源との接続、テープカートリッジやインクリボンカセットの装着などを説明しています。

おためし印刷 <ラベル編> 簡単なデータを作ってテープに印刷するまでの流れを説明しています。

おためし印刷 <ディスク編> 簡単なデータを作ってディスクに印刷するまでの流れを説明しています。

RJA517982-001V01

ご　注　意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。

本書に記載されている各会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジ、インクリボンカセットを回収 / 分解し、再資源化しております。
使用済みのテープカートリッジ、インクリボンカセットはお買い求めの販売店までお持ちください。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

あらかじめご承知いただきたいこと

■本書は KLD-350 について説明しています。
付属のソフトウェアについては、「CD-ROM 収録の PDF ファイル取扱説明書」をご参照ください。

■本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。

■本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■ 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。

■本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。

■本書の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

目次

こんなことができます・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

準備編 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

各部の名前とはたらき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

本機を使う前の準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

電源について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

AC アダプターで使う ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！・・・10

電源を入れる・切る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

オートパワーオフ（節電）機能について・・・・・・・・・ 11

印刷する文章の作り方について・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

テープカートリッジを取り付ける / 取り外す・・・・・・13

テープカートリッジを取り付ける・・・・・・・・・・・・・・・ 13

テープカートリッジを取り外す・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

インクリボンカセットを取り付ける / 取り外す・・・・・15

インクリボンカセットを取り付ける・・・・・・・・・・・・・ 15

インクリボンカセットを取り外す・・・・・・・・・・・・・・・ 16

キーのはたらき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

キーの表記について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

画面について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

おためし印刷＜ラベル編＞ ・・・・・・・・・ 20

まずは作ってみましょう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

ラベルを印刷する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

ラベルを貼る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

テープを空送りする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

テープの余白を「送り無」にしたときは・・・・・・・・・ 22

終了する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

おためし印刷＜ディスク編＞ ・・・・・・・ 24

「おまかせコース」でディスクに印刷する・・・・・・・・ 24

「おまかせコース」でディスクの上下 2 ヵ所に印刷する 28

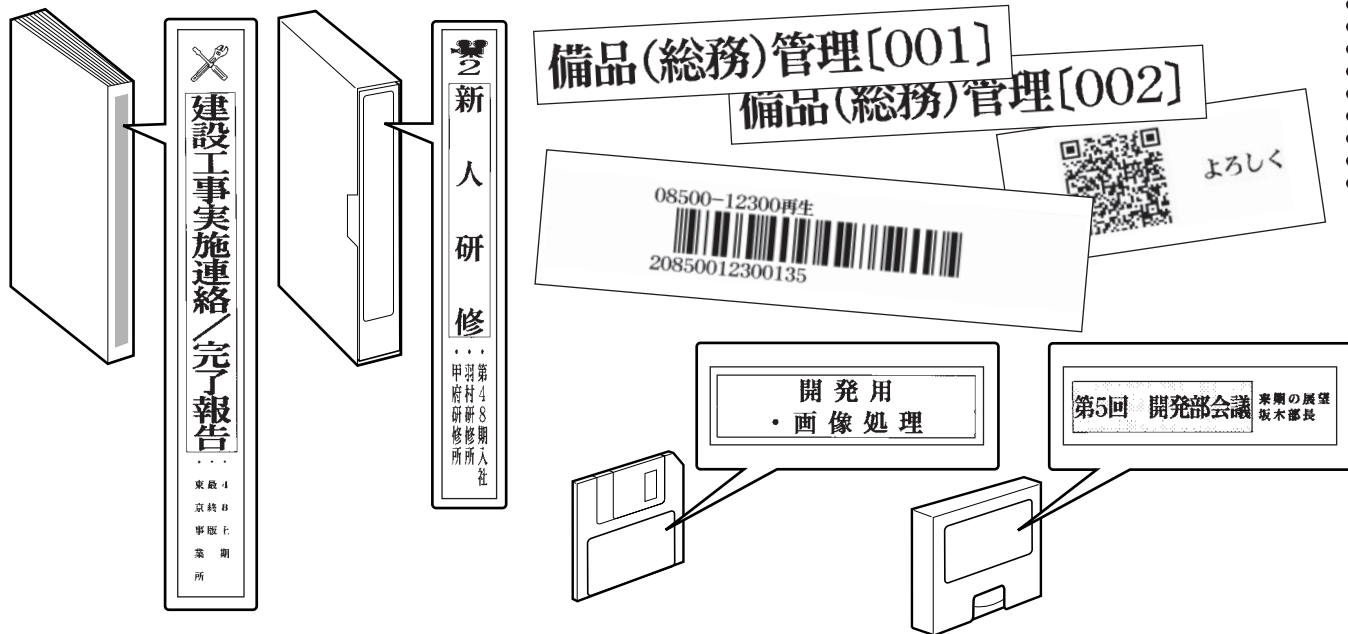
終了する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

こんなことができます

KLD-350 だけで簡単に印刷することができます。

テープモード

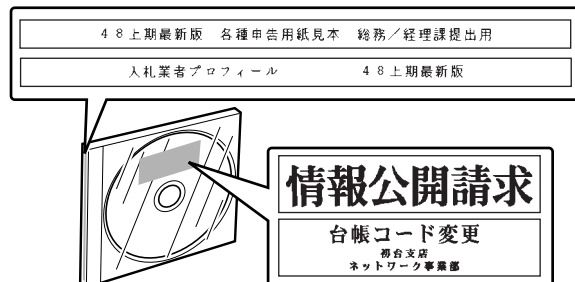
ラベル

ビデオカセットや名前などの定番ラベルから、お好みのレイアウトで作成することができるラベルまで、さまざまな印刷ができます。

ディスクモード

ディスク

イラストやいろいろな文字を使った印刷ができます

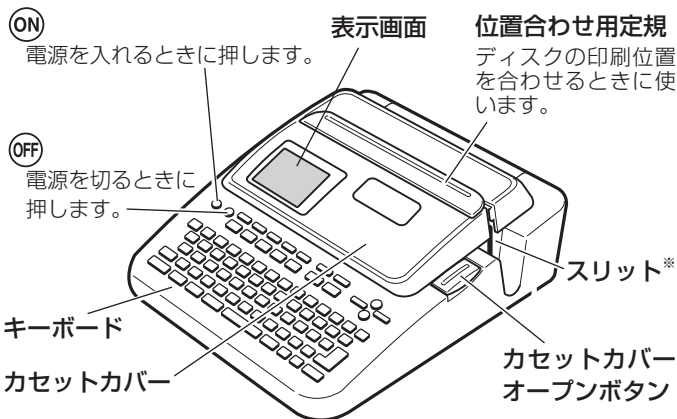
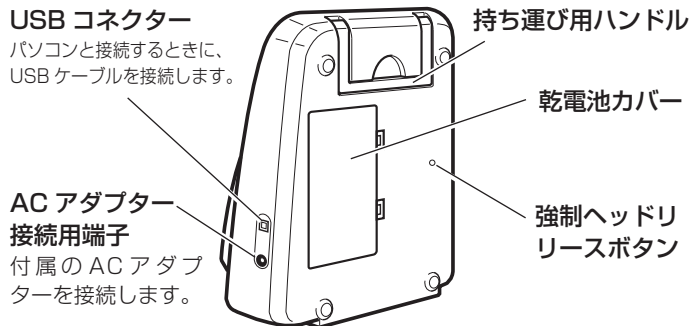
ケースラベル

ディスクケースの正面や背などに貼るラベルを作成できます

デザインロゴモード

オフィスなどの職場、工事や建設などの現場、病院などでよく使う表現を選ぶだけで、イラストや文字の入ったアテンション効果に優れたラベルを作ることができます。デザインロゴは、インターネットのダウンロードサイトからパソコン経由で本機に転送することもできます。

診察券はこちら

携帯使用禁止
NO MOBILE PHONES

各部の名前とはたらき

※ テープカートリッジ装着時には、スリットの右端付近を**「テープ出口」**と呼びます。

本機が故障し、ディスクが取り出せなくなったときは、以下の操作をして、ディスクを取り出してください。

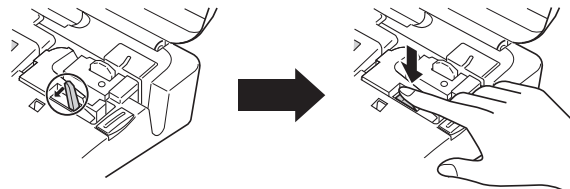
① OFF を押します。

② D と H を押したまま、 ON を押します。

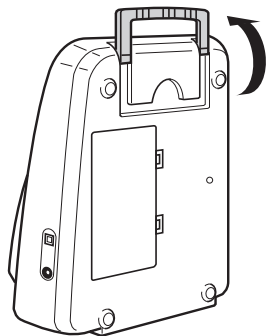
この操作をしてもディスクが取り出せないときは、以下の操作をしてディスクを取り出してください。
ただし、本機が故障し、ディスクが取り出せなくなったとき以外は、絶対に強制ヘッドリリースボタンは押さないでください。

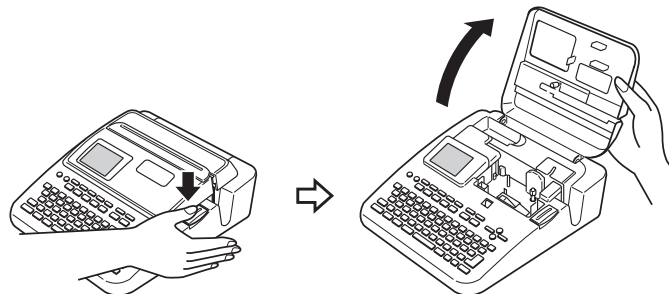
① 先の細い棒*のようなものを強制ヘッドリリースボタンの穴に差し込みます。ヘッドが印刷開始時の位置に戻り、ディスクを取り出せる状態になります。

② 27 ページを参照してディスクを取り出します。

③ カセットカバーを開けて、図のようにリリースレバーを押し下げます。リリースレバーが起きたままでは、次回の印刷ができません。

＊ 長さ 30mm 以上、太さ 1.5mm 以内のものをお使いください。
つまようじなど先の折れやすいものを使わないでください。故障の原因となります。

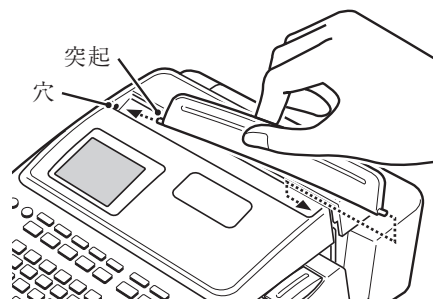
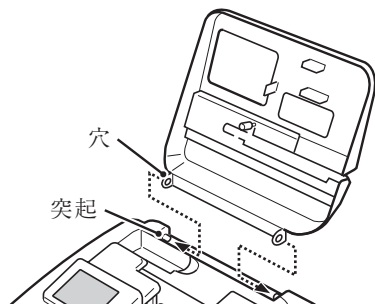
■持ち運ぶときは

本機を持ち運ぶときは、図のように持ち運び用ハンドルを引き上げてお使いください。

■カセットカバーを開ける／閉める

テープカートリッジやインクリボンを交換するときは、カセットカバーオープンボタンを押してカセットカバーを開けます。

カセットカバーを閉めるときは
「カチッ」と音がするまで押してください。

重要 「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

■カセットカバーや位置合わせ用定規が外れてしまったら

カセットカバーや位置合わせ用定規が外れてしまったときは、図のようにセットしてください。カセットカバーや位置合わせ用定規を無理な方向に曲げたりねじったりすると、突起や穴が破損する恐れがありますのでご注意ください。

本機を使う前の準備

ラベル印刷する場合の操作の流れ

ディスク印刷する場合の操作の流れ

「ディスクケースのラベル」を印刷するときもこちらをご覧ください。

ACアダプターの接続
または乾電池のセット
8ページ
応用ガイド　113ページ

…**購入後、はじめて使うときはメモリーの初期化、日時の設定をしてください。(10ページ)**
・メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要のないときはメモリーの初期化はしないでください。

テープカートリッジの取り付け　13ページ

自由に入力して作る
フリーラベル　20ページ
フリーラベルの編集機能
応用ガイド　18ページ

用途に応じて作る
用途別ラベル、デザインロゴ、バーコードラベルなど
応用ガイド12、67、36ページ

印刷する　21ページ

インクリボンカセットの取り付け　15ページ

ディスクケースラベル印刷の場合は、
テープカートリッジの取り付け　13ページ

手軽に作る
おまかせコース
24ページ

凝ったデザインで作る
こだわりコース
応用ガイド　52ページ

印刷する　26ページ

電源について

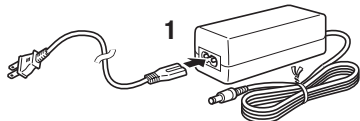
本機を使うときは、電源として付属の AC アダプター (AD-2105S) または市販のアルカリ乾電池を使います。

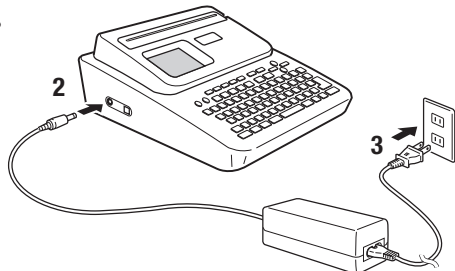
• 市販の乾電池のセットについては、「応用ガイド」113 ページをご覧ください。

AC アダプターで使う

■取り付ける

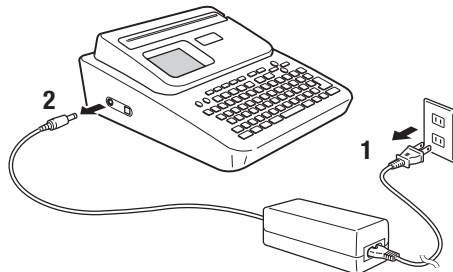
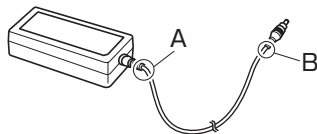
• 付属の AC アダプター以外は使用しないでください。
• パソコンと接続する場合は、ソフトをインストールした後、USB ケーブルと AC アダプターを接続してください。くわしくは、別紙「はじめにお読みください」の「ソフトとプリンタードライバーをインストールする」「パソコンと接続する」をご覧ください。

1 AC アダプターに電源コードを接続します。

2 AC アダプターのプラグを本機の AC アダプター接続用端子に差し込みます。

3 電源コードをご家庭のコンセント< AC100V >に差し込みます。

■取り外す

• 印刷中に AC アダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
• 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、AC アダプターや乾電池（「応用ガイド」113 ページ）を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、外字、コピーした文章、設定された内容が消去されてしまいます。
•「AC アダプターから電池に切り替えるとき」「電池から AC アダプターに切り替えるとき」は、必ず、一度電源を切ってください。電源が入っているときに切り替えをすると、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。
• USB ケーブルを接続している場合は、AC アダプターを取り外す前にパソコンと本機から USB ケーブルを抜き取ってください。

1 コンセントから電源コードのプラグを抜きます。

2 本機の AC アダプター接続端子から AC アダプターのプラグを抜きます。

電源コードの両端部分（図の A および B）は、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードの両端部分が折り曲げられた状態で保管しないでください。コードが断線して故障の原因となります。

⚠ 警告

電源コード／ AC アダプター／ USB ケーブルについて

電源コード／ AC アダプター／ USB ケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 必ず付属品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz) のコンセントを使用する
- １つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

電源コード／ AC アダプター／ USB ケーブルについて

電源コード／ AC アダプター／ USB ケーブルは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コード／ AC アダプター／ USB ケーブルのプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する

電源コード／ AC アダプター／ USB ケーブルについて

- 濡れた手で電源コード／ AC アダプター／ USB ケーブルやプラグに触れないでください。
  感電の原因となります。
- 電源コード／ AC アダプター／ USB ケーブルは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となることがあります。
- 電源コード／ AC アダプター／ USB ケーブルの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

電源コード／ AC アダプター／ USB ケーブルについて

電源コード／ AC アダプター／ USB ケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

🚫
- ストーブ等の熱器具に近づけない
- 電源コード／ USB ケーブルのプラグを抜くときは、電源コード／ USB ケーブルを引っ張らない（必ず電源コード／ USB ケーブルのプラグを持って抜く）

❗
- 電源コードのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- USB ケーブルのプラグはコネクターの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときは電源コード／ USB ケーブルのプラグをコンセントから抜く
- 電源コードのプラグは年１回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で清掃する
- 電源コード（特にプラグ部分）、AC アダプター（特にプラグやジャック部分）の清掃には、洗剤を使用しない

記憶したデータの保持について

- 電源が入っているときはＡＣアダプターや乾電池（「応用ガイド」113 ページ）を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、外字、コピーした文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 本機に登録したデータ（文字や文章など）は、ノートやパソコンなどに控えを取っておいてください。

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ず**メモリーの初期化**という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、必要のないときはメモリーの初期化をしないでください。

1 **電源が切れていることを確認します。**

画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、[OFF] を押します。

2 **[印刷]と[空白]をいっしょに押しながら、[ON] を押します。**
[印刷]と[空白]をいっしょに押し続けたまま、[ON] から指を離します。

「メモリー初期化　実行／取消し」が表示されます。

3 **[実行]を押します。**

4 **[∧][∨]を押して、現在の日付や時刻の設定をします。**
[＜][＞]で設定したい項目を選択することができます。

- [∨]を押すと数字が減り、[∧]を押すと数字が増えます。
- 数字を直接入力することもできます。

5 **設定が終了したら[実行]を押します。**

日付、時刻を設定し直すときは、「応用ガイド」110 ページの「日付、時刻を設定する」をご覧ください。

メモリーとは

本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。

「メモリーの初期化」とは

本機が正常な動作をするために、電気的な設定をすることです。「メモリーの初期化」をすると、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。

また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。

ただし、本機にインストールされたデザインロゴのデータやディスク用ユーザーロゴのデータはメモリーの初期化をしても消えません。

電源を入れる・切る

一度「メモリーの初期化」をしたら、次からは ON を押すだけで本機が使えます。

- 画面の明るさを調整するときは、「応用ガイド」109 ページをご覧ください。

オートパワーオフ（節電）機能について

何も操作をしないで、約 6 分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これを**オートパワーオフ機能**といいます。

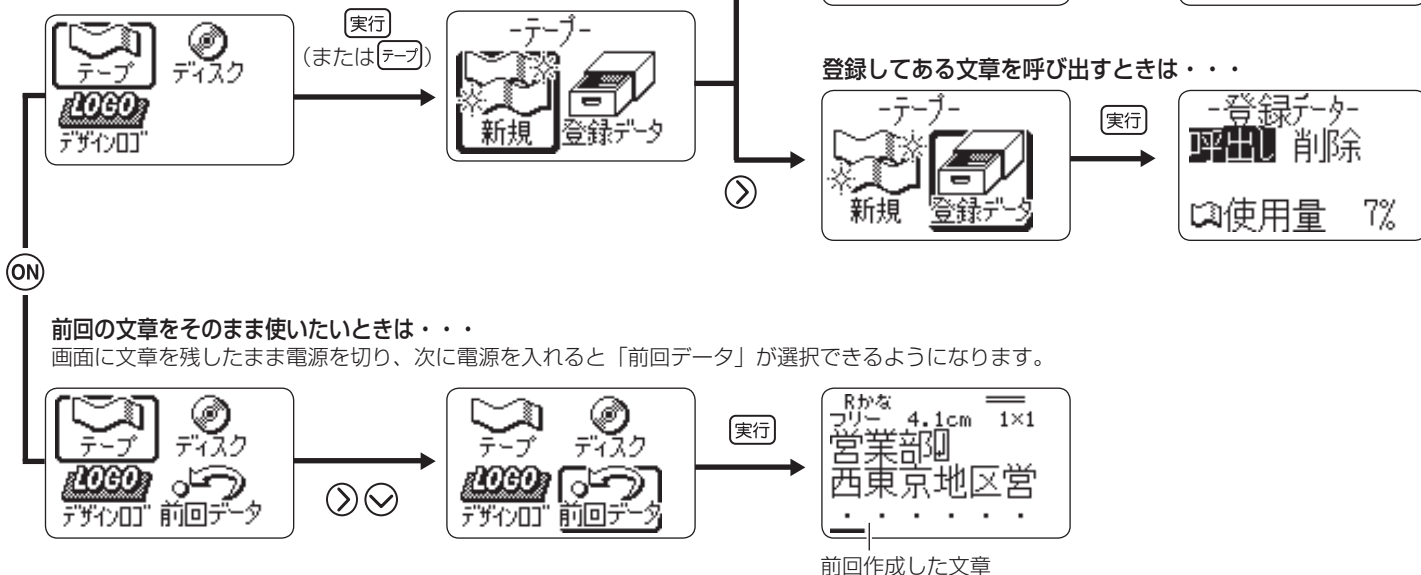
再び本機を使うときは、 ON を押してください。

- ＡＣアダプターを使用して、伝言板（「応用ガイド」42 ページ）を表示しているときは、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- AC アダプターを使用して、パソコンと接続しているときには、オートパワーオフ機能ははたらきません。

印刷する文章の作り方について

本機では、文章の作り方について、次の 3 つがあります。

- 新しく文章を作る
- 登録してある文章を呼び出して作る
- 電源を切る前に入力していた文章（前回の文章）を呼び出して作る

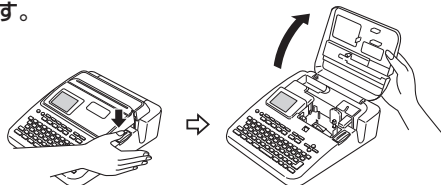
ここでは「テープ」モードの例で説明します。

- 電源を入れた直後の画面で「前回データ」以外を選択したときや、デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータは、登録してから上記の操作をしてください。（データの登録→「応用ガイド」48、64 ページ）

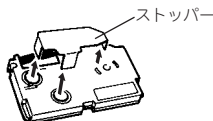
テープカートリッジを取り付ける / 取り外す

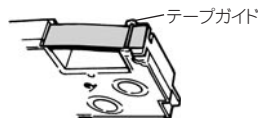
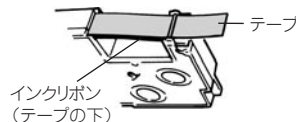
ラベルを印刷するときには、テープカートリッジが必要です。
付属品および別売のテープカートリッジをお使いください。
（別売品一覧→「応用ガイド」147 ページ）

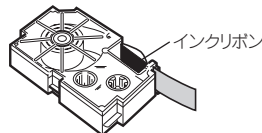
テープカートリッジを取り付ける

1 OFF を押して、電源を切ります。

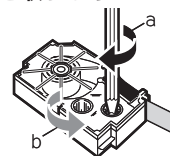
2 カセットカバーオープンボタンを押して、カセットカバーを開けます。

重要 カバーの開閉時には、「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

3 テープカートリッジに付いているストッパーを取り外します。

4 テープの先が折れ曲がっていないことを確認します。
テープの先が折れ曲がっていたら、ハサミで曲がった部分を切ってください。

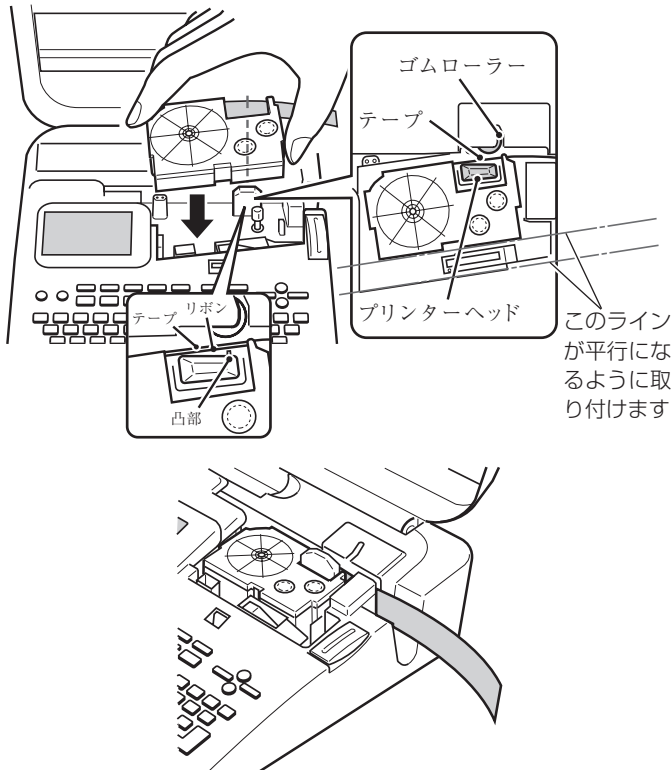
5 テープがテープガイドにきちんと通っているか確認します。
テープガイドから外れているときは、イラストのようにテープの先をテープガイドに通してください。

6 テープを約 3cm 引き出します。

重要
- 一度引き出したテープを戻すことはできません。
- 無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

7 インクリボンがたるんでいないか、確認します。

重要 インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

インクリボンがたるんでいたら、たるみを取ります

インクリボンがたるんでいたら、a のように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。b の方向に左下の軸が回りはじめるまで右上の軸を回してください。
このとき、テープはいっしょに動きません。

8 テープカートリッジをセットします。

凸部にインクリボンが引っかからないように注意しながら、テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます（下図）。テープカートリッジはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。

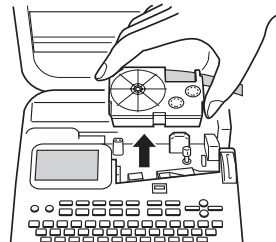
重要 正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。

9 カセットカバーを閉めます。

- カセットカバーは、カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。
- テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

テープカートリッジを取り外す

1 OFF を押して電源を切ります。

2 カセットカバーオープンボタンを押して、テープカートリッジカバーを開けます。

3 テープカートリッジの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。

重要 • 当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収 / 分解し、再資源化しております。使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

準備編

テープカートリッジを取り付ける／取り外す

インクリボンカセットを取り付ける / 取り外す

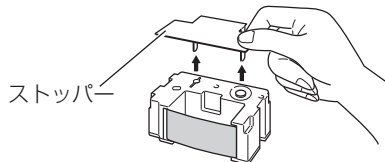
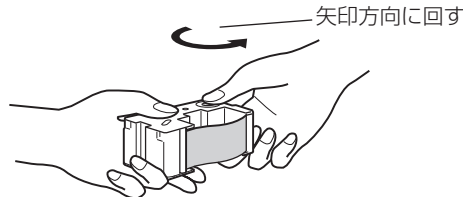
ディスクの表面に印刷するときには、インクリボンカセットが必要です。付属品や別売のインクリボンカセットをお使いください。
（別売品一覧→「応用ガイド」147 ページ）

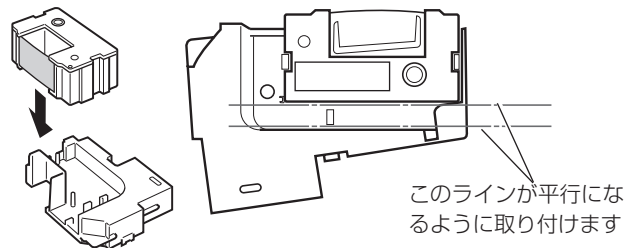
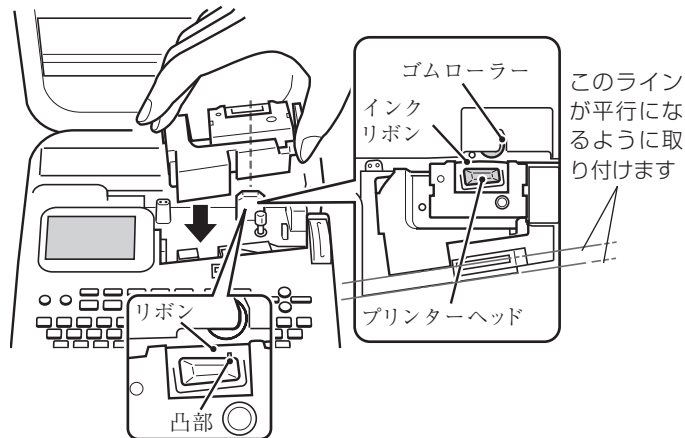
インクリボンカセットを取り付ける

1 **OFF を押して、電源を切ります。**

2 **カセットカバーオープンボタンを押して、カセットカバーを開けます。**

重要 カバーの開閉時には、「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

3 **インクリボンカセットからストッパーを取り外します。**

4 **インクリボンがたるんでいる場合は、イラストのように指でインクリボンカセットの軸を回し、たるみを取ってください。**
たるみが大きい場合は、軸を何回か回してください。

重要
- インクリボンを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- たるんだ状態でインクリボンカセットを取り付けると、故障の原因となります。

5 **インクリボンカセットをインクリボンカセット専用アダプターに図のように取り付けます。**

6 **インクリボンカセット専用アダプターをセットします。**
凸部にインクリボンが引っかからないように注意しながら、インクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます（下図）。インクリボンカセット専用アダプターはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。

重要 正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。

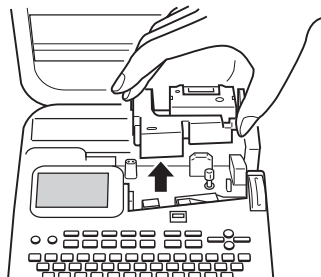
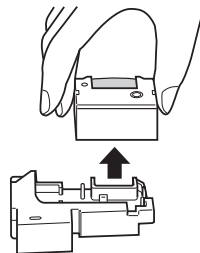
7 カセットカバーを閉めます。

・カセットカバーは、カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。

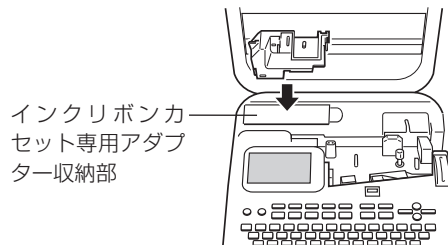
インクリボンカセットを取り外す

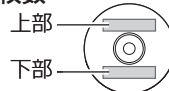
1 OFF を押して電源を切ります。

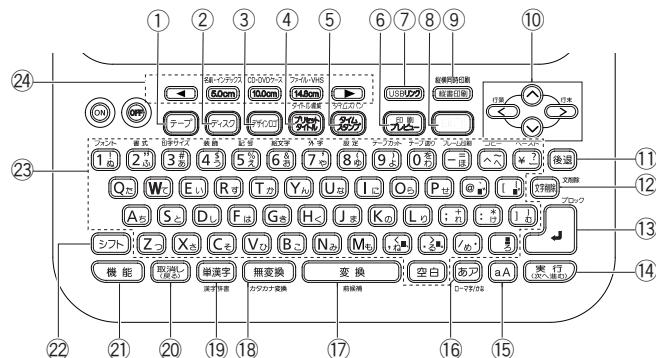
2 カセットカバーオープンボタンを押して、カセットカバーを開けます。

3 インクリボンカセット専用アダプターの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。

4 インクリボンカセット専用アダプターからインクリボンカセットを取り外します。

重要 ・当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのインクリボンカセットを回収 / 分解し、再資源化しております。使用済みのインクリボンカセットはお買い求めの販売店までお持ちください。

使用中のインクリボンカセットを保管するときは

使用中のインクリボンカセットを保管するときは、インクリボンカセット専用アダプターから外し、ストッパーを取り付け、インクリボンカセットが梱包されていた袋に入れてから箱にしまい、ごみ・ほこりの付きにくい場所に保管してください。
インクリボンカセット専用アダプターは、本機のインクリボンカセット専用アダプター収納部に入れてください。

1 本のインクリボンカセットで印刷できる枚数

・上部または下部のみ…約 40 枚
・上部・下部両方…約 20 枚

キーのはたらき

ここではキーの主な使い方について説明します。

- 電源を入れたときやキー操作を間違ったときに鳴るブザー音を消したいときは、「応用ガイド」109 ページをご覧ください。

①	テープ	「ラベル印刷」をするときに、まずはじめに押す。 「ディスク印刷」「ディスクケースラベル印刷」「デザインロゴ印刷」をしているときに テープ を押すと、[テープ] モードに切り替わる。
②	ディスク	「ディスク印刷」「ディスクケースラベル印刷」をするときに、まずはじめに押す。 「ラベル印刷」「デザインロゴ印刷」をしているときに ディスク を押すと、[ディスク] モードに切り替わる。
③	デザインロゴ	デザインロゴを印刷するときや、パソコンからデザインロゴデータをインストールするときに、まずはじめに押す。 「ラベル印刷」「ディスク印刷」「ディスクケースラベル印刷」をしているときに デザインロゴ を押すと、[デザインロゴ] モードに切り替わる。
④	タイトル編集 プリセット タイトル	• よく使う登録した単語や文章を呼び出して使うときに押す。 • よく使う単語や文章を登録、編集するときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑤	タイムスパン タイム スタンプ	• 日付、時刻を入力中の文章に挿入するときに押す。 • 保存期間、有効期限などの将来の日付、時刻を入力中の文章に挿入するときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑥	印刷 プレビュー	印刷結果を画面で見るときに押す。
⑦	USBリンク	パソコンで作成したデータを本機で印刷するときや、 パソコンからディスク用ユーザーロゴを取り込むときに押す。
⑧	印刷	印刷するときに押す。
⑨	縦横同時印刷 縦書印刷	縦書き印刷をするときに押す。 • 縦横同時印刷をするときは、 機能 を押し指を離してからこのキーを押す。 • フリーラベル以外では使用できません。
⑩	∧ < > ∨	• 文字が入る位置を示した＿や、文字編集などのときに範囲を指定する■を動かすときに押す。 • 項目などを選択するときに押す。
⑪	後退	カーソルの前の文字を消すときに押す。
⑫	文削除 文字削除	カーソルの上の文字を消すときに押す。 • 入力中の項目の文章をすべて消すときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。

No.	キー	説明
⑬	ブロック [↵]	・改行するときに押す。 ・文章をブロックに分けるときは、[機能]を押し、指を離してからこのキーを押す。（「応用ガイド」19 ページ）
⑭	[実行]	操作を進めるときに押す。
⑮	[aA]	アルファベットの小文字と大文字を使い分けるときに押す。（「応用ガイド」83 ページ）
⑯	[あア] ローマ字/かな	ひらがなとカタカナを使い分けるときに押す。 （「応用ガイド」74 ページ） ・ローマ字入力とかな入力を切り換えるときは、[機能]を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑰	[変換] 前候補	ひらがなを漢字などに変換するときに押す。 ・1つ前の変換に戻るとき（前候補）は、[機能]を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑱	[無変換] カタカナ変換	漢字に変換しないでひらがなのまま確定するときに押す。 ・入力中のひらがなをカタカナに変換するときは、[機能]を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑲	[単漢字] 漢字辞書	1文字ずつ漢字に変換するときに押す。 ・漢字辞書を使って漢字を入力するには、[機能]を押し、指を離してからこのキーを押す。（「応用ガイド」79 ページ）
⑳	[取消し]	操作を戻したり、中止したりするときに押す。
㉑	[機能]	キーの上下または横に[機能]と同じ色で書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す。
㉒	[シフト]	・かな入力のとき、「っ」や「ょ」などの促音・拗音を入れる場合に押す。（「応用ガイド」76 ページ） ・アルファベットを入力しているとき、1 文字だけ大文字（または小文字）を入れる場合に押す。（「応用ガイド」83 ページ）
㉓	（文字キー）	文字を入れるときに押す。
㉔	（テープ長さキー）	フリーラベルで長さを設定するときに押す。 ・フリーラベル以外では使用できません。

[機能]と[シフト]の操作には、以下の 2 つの方法があります。

1. [機能]（[シフト]）を押し、指を離してから目的のキーを押す。
2. [機能]（[シフト]）を押しながら目的のキーを押す。

・本書の操作説明は、「[機能]（[シフト]）を押し、指を離してから目的のキーを押す」で記載しています。

キーの表記について

●本文中では、操作手順の中で使うキー（ボタン）を[1 ! ぬ]や[実行]などのように表記しています。

例 [1 ! ぬ]を押したあとに続けて[実行]を押すときの表記

[1 ! ぬ][実行]と押します。

●本機のキーの上下または横に[機能]と同じ色で書かれている機能（「設定」や「カタカナ変換」など）を使うには、[機能]を押し、指を離してから[機能]と同じ色で書かれている機能名のキーを押します。

例 「設定」機能を使うときの表記

↓

[機能]を押し、指を離してから[設定 8 (ゆ]を押します。

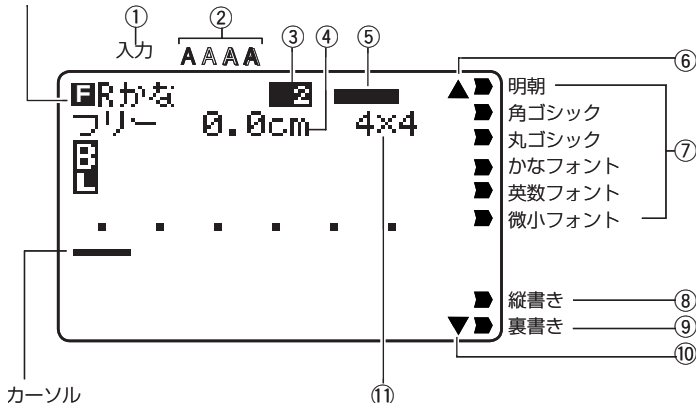
●操作手順の中で、「[∧][∨][<][>]を押して…」「[∧][∨]を押して…」「[<][>]を押して…」と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4 つまたは 2 つのキーすべてを押す必要はありません。

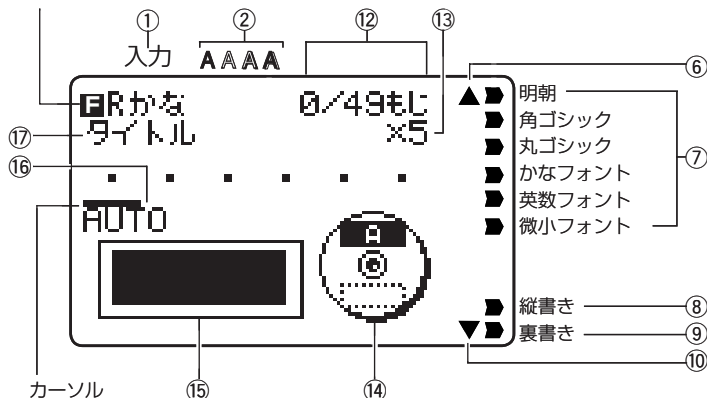
● 1 つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは[取消し]を押します。
● [取消し]を何回押しても希望の画面に戻らないときは、(OFF)を押して一度電源を切ります。(ON)を押して再び電源を入れて、はじめから操作をやり直してください。

画面について

本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。

• 画面の明るさを変えるときは、「応用ガイド」109ページをご覧ください。

■ラベル作成時

①	入力できる文字の種類を示す。(「応用ガイド」74 ページ)
②	文字体が何になっているか示す。(「応用ガイド」93 ページ)
③	カーソルがあるブロックは何個目かを示す。(「応用ガイド」19 ページ)
④	いま作っているラベルの長さを示す。(「応用ガイド」24 ページ)
⑤	フリーラベルを選択したときのレイアウトを示す。(「応用ガイド」19 ページ)
⑥	いま見えている画面より上にも文字などがあることを示す。

■ディスク / ディスクケースラベル作成時

⑦	書体(フォント)が何になっているかを示す。(「応用ガイド」89 ページ)
⑧	縦書きになっていることを示す。(「応用ガイド」20 ページ)
⑨	裏書きになっていることを示す。(「応用ガイド」22 ページ)
⑩	いま見えている画面より下にも文字などがあることを示す。
⑪	文字のサイズを示す。(「応用ガイド」30 ページ)
⑫	選択した項目に最大何文字入るか、また現在何文字入っているかを示す。
⑬	オートフォーマットを選択したとき、文字のサイズ(倍率)を示す。(「応用ガイド」55 ページ)
⑭	作成中のデータがどの位置に印刷されるかを示す。(「応用ガイド」53 ページ)
⑮	作成中のフォーマットを示す。(「応用ガイド」54 ページ)
⑯	オートフォーマットが選択されていることを示す。(「応用ガイド」55 ページ)
⑰	入力中の項目名を示す。

まずは作ってみましょう

準備ができたら、試しに「ラベルの印刷」と「ディスクへの印刷」をしてみましょう。

ラベルを印刷する

[印刷例]

営業レポート

1 **ONを押して、電源を入れます。**

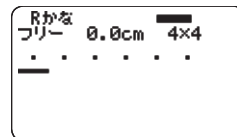
・右の画面の代わりに「前回データ」を含む画面が表示されることがあります（12 ページ）

2 **上下左右キーを押して「テープ」を選び、実行を押します。**

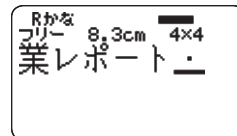
・上記の操作の代わりに、テープを押しても右の画面に進めます。

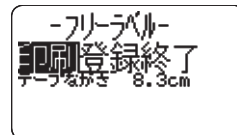
3 **左右キーを押して「新規」にし、実行を押します。**

4 **上下左右キーを押して作りたいラベルの種類を選び、実行を押します。**

ここでは「フリーラベル」を選びます。

5 **文字を入力します。**

ここでは「営業レポート」と入力します。

・文字の入力方法については、23 ページをご覧ください。

続いて、ラベルを印刷します。

6 **実行を押します。**

■印刷結果を画面で確認する

印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。テープカートリッジをセットしていないと、印刷結果を画面で確認することはできません。

1 **印刷プレビューを押します。**

どのように印刷されるのか、そのイメージが画面に流れます

2 **じっくりと見たい部分が流れてきたら、[実行]を押します。**

その部分が止まります

[実行]を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- プレビュー表示を中止するときは[取消し]を押します。
- 細い線のある文字や字画の多い漢字は正しくプレビュー表示されないことがあります。

■印刷する

作成したラベルは簡単に印刷できます。複数枚を連続して印刷することもできます。また、テープをカットする方法も選ぶことができます。

重要 **印刷する前に、テープ出口（4 ページ）が物などでふさがっていないことを確めてください。**

- テープカートリッジがセットされていることを確認してください（13 ページ）。

1 **[印刷] になっていることを確認して、[実行]を押します。**

2 **〈〉を押して、印刷する枚数を指定します。**
ここでは「1 枚」にします。

- 〈を押すと数字が減り、〉を押すと数字が増えます。
- 数字を直接入力することもできます。一度に、100 枚まで指定できます。0 枚を指定することはできません。

3 **∨を押します。**

4 **カットモードを指定します。**

- ラベル間の台紙を切らずに印刷するときは、「通常」を指定します。
- ラベルごとに切り離すときは、「切り離す」を指定します。
- 布転写テープ・インスタントレタリングテープをセットしているときは、「特殊テープ」を指定します。
- 反射テープ・マグネットテープ・アイロン布テープをセットしているときは、「カットしない」を指定します。

ここでは「通常」にします。
カットモードについて詳しくは、「応用ガイド」44 ページをご覧ください。

5 **[実行]を押します。**
印刷が始まります。

- 印刷を途中でやめるときは、[取消し]を押します。

重要
- **印刷中に、絶対に電源を切らないでください。**
- **印刷中に、カセットカバーを絶対に開けないでください。（カセットカバー→ 4 ページ）**
- **印刷中に出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」まで触らないでください。**
- **印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、[取消し]を押して印刷を中止してください。**
- **テープ出口の周りに、カットされたラベルがたまらないようにしてください。カットされたラベルがテープ出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。**

⚠ 注意

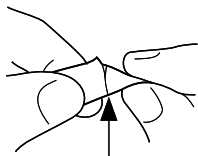
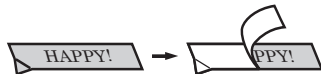
オートテープカッターに注意する

電源を入れたときや印刷中は、プリンターヘッドやテープ通路付近に触れないでください。
オートテープカッターが動くことがあり、けがをする恐れがあります。

ラベルを貼る

1 **必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・形にします。**

2 **ラベルの裏をはがして、貼ります。**

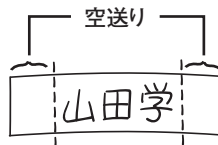
●ハーフカット部分からはがすとき
ハーフカット部分をゆっくりとひねるようにして、テープを台紙からはがします。

●フルカットされたラベルをはがすとき
ラベルの角を折り曲げると、はがしやすくなります。

・一度貼ったラベルをはがすと、貼っていた場所にテープのノリが残ることがあります。

重要

- 次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。
- 直射日光や雨が当たるもの
- 人や動物の体
- 他人の家のへいや電柱など
- 公園・駅など、公共の場所
- 電子レンジで加熱に使う容器

ラベルが貼りにくいものは…
- 表面がざらざらしているところ
- 表面に水や油、ホコリなどが付いているところ
- 特殊なプラスチック材料（シリコン系・PP 材など）

テープを空送りする

印刷する前や印刷した後に、テープを白紙で送ることができます（テープ送り）。

1 **[機能][0 をわ]（テープ送り）と押します。**

↓

テープが約 23.5mm 送られます。

テープの余白を「送り無」にしたときは

テープの余白を「送り無」と設定したときは（「応用ガイド」24 ページ）、印刷が終わっても自動的にテープはカットされません。次の手順に従って、テープをカットしてください。

1 **[機能][9)よ]（テープカット）と押して、テープをカットします。**

重要
テープをカットするときは、本機を傾けないでください。
また、テープを引っぱったり、カバーを開けたりしないでください。

終了する

1 上の画面が表示されているときに〈〉を押して 終了 にし、［実行］を 2 回押します。

以下の画面に戻ります。

・「登録」については、「応用ガイド」の 48 ページをご覧ください。

文字の入力について

■「営業」を入力します。

ローマ字入力、またはかな入力を選ぶことができます。
ここでは、ローマ字入力を選びます。（「応用ガイド」74 ページ）

1 ［あア］を何回か押して、画面左上に「R かな」を表示させます。

2 ［E い］［I に］［G き］［Y ん］［O ら］［U な］

3 ［変換］を何回か押して、「営業」が画面に表示されたら［実行］を押します。

■「レポート」を入力します。

1 ［あア］を何回か押して、画面左上に「R カナ」を表示させます。

2 ［R す］［E い］［P せ］［O ら］［¥ ー］［T か］［O ら］

・誤った文字を入力したときは、［文字削除］（「応用ガイド」85 ページ）や［後退］（「応用ガイド」86 ページ）を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。

・文字入力方法について、詳しくは「応用ガイド」の「入力・編集編」（73 ページ）をご覧ください。

おためし印刷<ディスク編>

「おまかせコース」でディスクに印刷する

「おまかせコース」では、印刷したい文字を入力すると、入力項目数や文字数に応じて、自動的に最適なレイアウトで印刷することができます。

- 「おまかせコース」のレイアウトについては、28 ページをご覧ください。

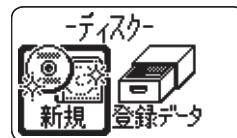
［印刷例］

ここではディスクに印刷する例を紹介します。
ディスクケースに貼るラベルを作るときも、26 ページの■印刷する 手順**2**で「ケース背ラベル」「ケース表ラベル」を指定することを除けば、同様の操作になります。

1 **ON を押して、電源を入れます。**

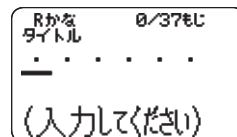
- 右の画面の代わりに「前回データ」を含む画面が表示されることがあります（12 ページ）

2 **∧∨＜＞を押して「ディスク」を選び、実行を押します。**

- 上記の操作の代わりに、ディスクを押しても右の画面に進めます。

3 **＜＞を押して「新規」にし、実行を押します。**

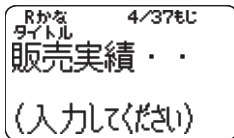
4 **＜＞を押して「おまかせ」または「こだわり」を選び、実行を押します。**

ここでは「おまかせ」を選びます。

Rかな　0/37もじ
タイトル
（入力してください）

5 タイトルを入力します。

ここでは「販売実績」と入力します。

Rかな　4/37もじ
タイトル
販売実績・・
(入力してください)

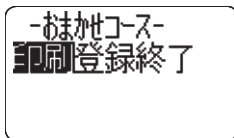
- 文字の入力方法については、30 ページをご覧ください。
- タイトルは入力しないと、先に進むことはできません。

6 [実行]を押します。

7 コメントを入力して、[実行]を押します。

ここでは「営業部・47 上期〜 48 下期」と入力します。

- 文字の入力方法については、30 ページをご覧ください。

8 [実行]を 4 回押します。

[実行]を 4 回押すのは、ここでは「ないよう 1」〜「ないよう 4」を入力しないためです。「ないよう 1」〜「ないよう 4」を入力すると、ディスクの上部だけでなく、下部にも印刷されます。(28 ページ)

これで文字の入力は完了です。
続いて、ディスクに印刷します。

いろいろな文字にしたい
文字の入力中に、必要に応じて次の修飾をすることができます。
- 書体（フォント）を変える（「応用ガイド」89 ページ）
- 文字を目立たせる（文字体）（「応用ガイド」93 ページ）
- 文字の配置を変える（「応用ガイド」28 ページ）

■印刷結果を画面で確認する

印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。

1 [印刷プレビュー]を押します。

2 [＜][＞]を押してプレビューする対象を選び、[実行]を押します。

ここでは **ディスク** になっていることを確認して、[実行]を押します。
どのように印刷されるのか、そのイメージが画面に流れます。
- ディスクの上下 2 カ所に印刷するときは、プレビューするエリアを選択する画面が表示されます。プレビューするエリアを選び[実行]を押します。

3 じっくりと見たい部分が流れてきたら、[実行]を押して画面を停止させます。

[実行]を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- 画面が停止しているとき、[＜]または[＞]を押すと、コマ送りすることができます。
- プレビュー表示を中止するときは、[取消し]を押します。
- 細い線のある文字や字画の多い漢字は、正しくプレビュー表示されないことがあります。
- 文字数が多いとき、または行数が多いときは、プレビュー表示されるまで時間がかかることがあります。

■印刷する

入力した文字をディスクに印刷してみましょう。ご不要になったディスクなどを印刷のお試し用としてお使いください。

- ディスクにデータを記録する前に印刷されることをおすすめします。すでにデータが記録されているディスクに印刷した場合、データ破損の補償はいたしません。
- 印刷前に別紙の「推奨メディア一覧」をお読みいただき、印刷可能なディスクの種類や印刷時の注意事項についてご確認ください。
- インクジェット印刷専用のディスクには、きれいに印刷できません。
- 本体が破損する原因となるため、シングル CD - R や名刺サイズの CD - R には印刷できません。
- 印刷できるのは、直径 12cm のディスクだけです。
- 本機を平らな場所に置いて印刷してください。傾いた場所に置くと、正しく印刷できないことがあります。

- インクリボンカセットがセットされていることを確認してください。（15 ページ）

1 **印刷 になっていることを確認して、実行を押します。**

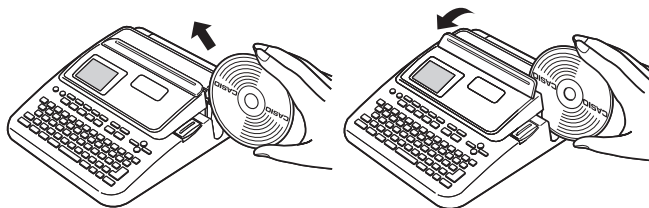
2 **〈〉を押して印刷する対象を選び、実行を押します。**

ここでは ディスク になっていることを確認して、実行を押します。

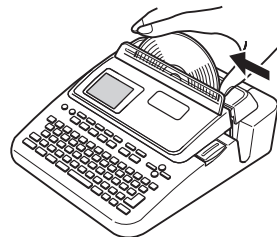
重要
- 「ケース背ラベル」を選んだときは、「タイトル」で入力した内容のみ印刷されます。（「コメント」および「ないよう 1」～「ないよう 4」に入力した内容は印刷されません）
- 「ケース背ラベル」「ケース表ラベル」を選んだときは、「応用ガイド」62 ページをご覧ください。

3 **ディスクをスリットに合わせて、右下から左上へスライドしながらセットします。**

ディスクの縁に押されて、位置合わせ用定規が持ち上がります。

- ディスクに印刷したい部分を下にしてセットします。
- ディスクメーカーのロゴ等がディスクに印刷されている場合、印刷されている面が見えるようにディスクをセットします。

重要
- ディスクをセットするときは、無理な力を加えないでください。ディスクや位置合わせ用定規が破損する恐れがあります。
- ディスクに異物・ごみなどが付いていないことを確認してください。ごみなどが付いたままセットすると、記録面に傷が付いてデータの書き込みができなくなることがあります。
- 表裏を逆にセットすると、記録面に印刷され、データの書き込みができなくなります。
- スリットにはディスク以外のものは入れないでください。

4 **ディスクが止まるまで左側に押し込みます。**

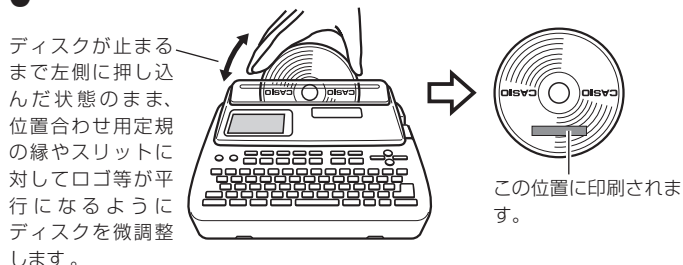
- 左側の奥まで確実に押し込んでください。ずれてセットするとうまく印刷できない場合があります。

重要 **ロゴ等、ディスク面に印刷済みの文字がある場合**

ディスク面にロゴなどの印刷済みの文字がある場合は、ロゴなどの部分に印刷することはできません。位置合わせ用定規を使用して次のように、位置合わせをしてください。

・印刷面が無地のディスクを使用する場合、以下の手順**5**の操作は必要ありません。

5 位置合わせ用定規を使用してディスクの位置を合わせます。

ディスクが止まるまで左側に押し込んだ状態のまま、位置合わせ用定規の縁やスリットに対してロゴ等が平行になるようにディスクを微調整します。

この位置に印刷されます。

6 [実行]を押します。

印刷が始まります。
印刷中はディスクがスリット内を、左から右へスライドします。

重要

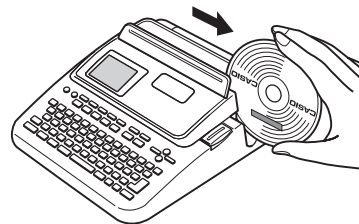
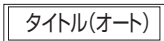
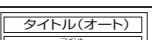
- 印刷中は、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、ディスクの出口付近（スリットの右端付近）をふさがないようにしてください。
- 印刷中に、ディスクには手を触れないでください。ディスクにキズが付いたり、故障の原因になります。
- ディスクがセットされているときや、印刷中にカセットカバーを開けないでください。ディスクにキズが付いたり、故障の原因になります。

7 印刷が終了すると、ディスクの動きが止まり、下の画面に戻ります。

-おまかせコース-
印刷 登録 終了

重要

- ディスクを取り出せないときは、4ページをご覧ください。

8 印刷が終了したら、ディスクを右側へスライドさせて取り出します。

次ページでは、ディスクの上下2カ所に印刷する操作を説明します。印刷操作を終了したい方は「終了する」(30ページ)にお進みください。

「おまかせコース」でディスクの上下２カ所に印刷する

「おまかせコース」では、入力する項目によって、下の表のようにフォーマットが自動で選択されます。
タイトルの他に、ないよう２～ないよう４のいずれかひとつ以上の項目を入力すると、ディスクの上部だけでなく下部にも印刷されます。

• ケース背ラベルには①②③④のどの場合もタイトルのみ印刷されます。
• ケース表ラベル、ケース背ラベルの作り方については、「応用ガイド」62 ページをご覧ください。

ここでは、タイトル・コメント・ないよう１～ないよう４を入力して、ディスクの上下２カ所に印刷をします。

■印刷する

1 **24 ページ～ 25 ページを参考にして文字の入力と印刷される内容の確認をします。**

以下の操作を始める前に、26 ページ「■印刷する」に記載されている注意事項を必ずお読みください。

2 **印刷 になっていることを確認して、実行 を押します。**

3 **〈〉を押して印刷する対象を選び、実行 を押します。**

ここでは ディスク になっていることを確認して、実行 を押します。

4 **〈〉を押して印刷するエリアを選び、実行 を押します。**

「エリア A」でディスク上部、「エリア B」でディスク下部の印刷をすることができます。
ここでは エリアAを印刷 を選びます。

5 **印刷するディスクをセットします。**

ディスクのセットについては、26 ページから 27 ページの手順 **3** ～ **5** をご覧ください。

6 [実行]を押します。

印刷が始まります。

重要

- 印刷中は、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、ディスクの出口付近（スリットの右端付近）をふさがないようにしてください。
- 印刷中に、ディスクには手を触れないでください。ディスクにキズが付いたり、故障の原因になります。
- ディスクがセットされているときや、印刷中に、カセットカバーを開けないでください。ディスクにキズが付いたり、故障の原因になります。

7 印刷が終了すると、ディスクの動きが止まり、下の画面になります。

-印刷エリア-
エリアBを印刷
B

8 ディスクを取り出します。

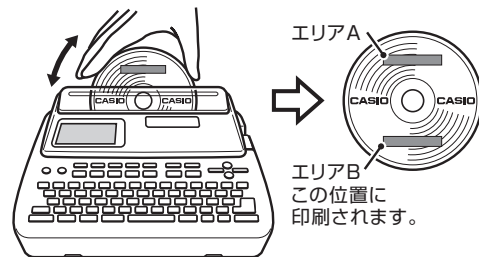
ディスクの取り出し方については、27 ページ手順 **8** をご覧ください。

重要

- ディスクを取り出せないときは、4 ページをご覧ください。

9 [実行]を押します。

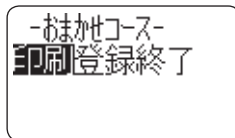
10 ディスクの上下を入れ替えてセットします。

エリア A の印字と平行になるように位置合わせ用定規を使用してディスクの位置を合わせてください。

11 [実行]を押します。印刷が始まります。

印刷が終了したら、27 ページ手順 **8** をご覧になり、ディスクを取り出してください。

終了する

印刷が終了すると下の画面が表示されます。

-おまかせコース-
印刷登録終了

1 **〈〉を押して 終了 にし、実行を 2 回押します。**
以下の画面に戻ります。

・「登録」については、「応用ガイド」の 64 ページをご覧ください。

文字の入力について

■「販売実績」を入力します。
ローマ字入力、またはかな入力を選ぶことができます。
ここでは、ローマ字入力を選びます。（「応用ガイド」74 ページ）

1. あアを何回か押して、画面左上に「R かな」を表示させます。
2. H A N B A I
3. 変換を何回か押して、「販売」が画面に表示されたら実行を押します。
4. J I S S E K I
5. 変換を何回か押して、「実績」が画面に表示されたら実行を押します。

■「営業部・47 上期～ 48 下期」を入力します。

1. あアを何回か押して、画面左上に「R かな」を表示させます。
2. E I G Y O U B U
3. 変換を何回か押して、「営業部」が画面に表示されたら実行を押します。
4. シフト / 4 7 K A M I K I
5. 変換を何回か押して、「上期」が画面に表示されたら実行を押します。
6. シフト ^ 4 8 S I M O K I
7. 変換を何回か押して、「下期」が画面に表示されたら実行を押します。

・誤った文字を入力したときは、文字削除（「応用ガイド」85 ページ）や後退（「応用ガイド」86 ページ）を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。

・**文字入力方法について、詳しくは「応用ガイド」の「入力・編集編」（73 ページ）をご覧ください。**

お客様ご相談窓口

機能・操作のご相談窓口 ⇨ カシオお客様相談室

0570-088901 市内通話料金のみでご利用いただけます。

受付時間　月曜日～土曜日 AM9:00～PM5:30（日・祝日・年末年始・夏期休暇等は除く）
携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合は、03-5334-4828（東京）／06-6243-6180（大阪）へお掛けください。

修理のご相談窓口 ⇨ カシオテクノ修理相談窓口

修理品のお持ち込みはできません。ご送付のみの受付となります。
修理品をお持ち込みいただく場合は、カシオテクノ・サービスステーションをご利用ください。

・ご送付される場合の送料および諸掛りはお客様のご負担となります。

東日本リペアセンター（北海道・東北・関東・信越）

市内通話料でOK ナビダイヤル®

0570-004161 市内通話料金のみでご利用いただけます。

〒208-0023 東京都武蔵村山市伊奈平3-28-2（携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合 TEL.042-560-4161）

東海リペアセンター（北陸・東海・近畿）

市内通話料でOK ナビダイヤル®

0570-090109 市内通話料金のみでご利用いただけます。

〒418-0034 静岡県富士宮市黒田335-1（携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合 TEL.0544-27-0109）

中四国コンシューマサービスステーション（中国・四国）

TEL.082-230-5900

〒736-0068 広島県安芸郡海田町新町10-13

九州コンシューマサービスステーション（九州）

TEL.092-411-2939

〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵2-16-23カシオ福岡ビル2F

受付時間:　月曜日～土曜日　AM9:00～PM6:30（日・祝日・年末年始・夏期休暇等は除く）

カシオテクノ・サービスステーション

修理品の「お持ち込み」を受け付けております（お買い上げの販売店へのお持ち込みも可能です）。
カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

北海道

札　幌　☎011－281－1231
〒060－0063　札幌市中央区南3条西10－1001－5

東　北

仙　台　☎022－256－8822
〒983－0852　仙台市宮城野区榴岡5－1－35

盛　岡　☎019－646－3395
〒020－0122　盛岡市みたけ6－15－5

関　東

宇都宮　☎028－623－5588
〒320－0053　宇都宮市戸祭町3009－8

水　戸　☎029－228－3155
〒310－0021　水戸市南町3－4－14

高　崎　☎027－322－9555
〒370－0831　高崎市あら町67－1

埼　玉　☎048－250－2660
〒332－8521　川口市栄町3－1－8

千　葉　☎043－243－1087
〒260－0022　千葉市中央区神明町13－4

秋葉原　☎03－5820－9871
〒101－0025　千代田区神田佐久間町2－23

多　摩　☎042－540－4880
〒190－0012　立川市曙町1－11－9

横　浜　☎045－441－2177
〒221－0052　横浜市神奈川区栄町3－12

信　越

新　潟　☎025－287－1151
〒950－0925　新潟市弁天橋通り3－9－12

長　野　☎026－222－3250
〒380－0912　長野市大字稲葉字日詰1592－1

北　陸

金　沢　☎076－224－0061
〒920－0027　金沢市駅西新町2－1－35

東　海

静　岡　☎054－281－8085
〒422－8056　静岡市駿河区津島町16－23

名古屋　☎052－324－2151
〒460－0024　名古屋市中区正木3－9－27

近　畿

京　都　☎075－351－1161
〒600－8107　京都市下京区五条通新町東入ル東錺屋町186

大　阪　☎06－6243－6211
〒541－0056　大阪市中央区久太郎町3－6－8

神　戸　☎078－392－2145
〒650－0033　神戸市中央区江戸町85－1

中　国

岡　山　☎086－244－3404
〒700－0926　岡山市西古松西町9－1

広　島　☎082－230－5900
〒733－0001　広島市西区大芝2－14－10

四　国

高　松　☎087－837－7641
〒760－0078　高松市今里町2－21

九　州

福　岡　☎092－411－2939
〒812－0007　福岡市博多区東比恵2－16－23

熊　本　☎096－340－8283
〒861－8028　熊本市新南部4－7－38

鹿児島　☎099－256－3573
〒890－0065　鹿児島市郡元1－1－3

• 住所・電話番号などは変更になることがあります。あらかじめご了承ください。